

2ND

Circular

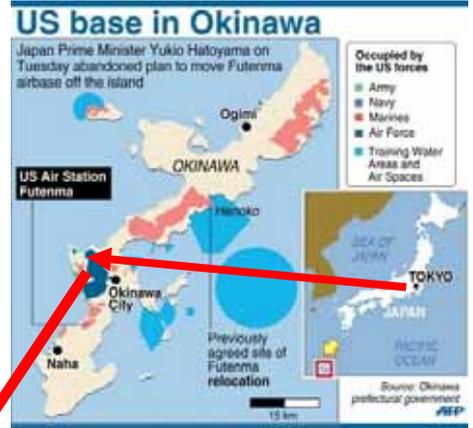
IN



FOR

SUMMER

SCHOOL



2011



基地のある沖縄の『現実(いま)』と『未来(あした)』の話をしよう

主催: JSA「夏の学校」2011 実行委員会

開催日程: 2011年9月9日(金) ~ 12日(月)

宿泊場所: 沖縄青年会館

全体集合時間・場所: 16:45に沖縄青年会館に集合

参加費: 20000 円(オプションツアー込み)+沖縄までの交通費

17000 円(オプションツアーなし)+沖縄までの交通費

申込締め切り 8月25日 羽田発飛行機申込締め切り6月30日

羽田からの参加者は極力まとめて、比較的安価な飛行機を確保したいと思います。詳しくは4ページをご参照下さい。



< 沖縄青年会館 >
住所: 沖縄県那覇市久米2-15-23
TEL: 098-864-1780
交通アクセス:
那覇空港よりモノレール「旭橋駅」下車、徒歩7分



校長挨拶

今年も夏の学校の季節が近づいて参りました。「夏の学校」は、全国から院生・若手研究者が集い、幅広く社会問題について理解を深めるとともに、科学者の社会的な役割と責任を考える企画です。異分野を研究する人たちから刺激を受け、一回りも二回りも大きい研究者に成長できる機会であると考えています。

今年の舞台は沖縄です。テーマは「基地のある沖縄の、現実(いま)と未来(あした)の話をしよう。」です。巨大な米軍基地の存在により、沖縄県民は米兵犯罪や「殺人的な」騒音等の深刻な影響に苦しんでいます。基地撤去は今、沖縄県民の大きな声になっています。しかし日本政府は沖縄県民の声を無視して、普天間基地の辺野古移設を進めようとしています。そこには原発事故とも共通する、「めいわく施設」おしつけの構図があります。

夏の学校2011はそうした本土にはなかなか分からない、「基地のある」沖縄のリアルな実態を学び、基地問題解決の展望を議論します。講師には昨年基地撤去を求めて沖縄県知事選に立候補された、元宜野湾市長伊波洋一氏もお招きします。フィールドワークは普天間基地・嘉手納基地や辺野古等を現在検討しています。あなたも沖縄で基地の実態や展望を学びながら、研究・院生生活についても院生たちと語り合いませんか？沖縄の美しい海と愉快的仲間たちが待っています。

「夏の学校2011 in 沖縄」校長 今仲 雅樹

企画概要

現時点での予定です。フィールドワーク場所等の詳細は変更の可能性があることをあらかじめご了承下さい。

【1日目:9月9日(金)】

集合と院生相互の研究交流、人間的交流を楽しむ一日。

・自己紹介、研究交流

全国の大学院生との交流・懇親の場です。参加者相互の研究交流企画を検討しています。

(Time Schedule)

16:45 沖縄青年会館に集合

17:00 開会、自己紹介と研究交流

19:00 夕食

20:00 交流

翌日の被害者証言に備えて、早く就寝する予定。

【2日目:9月10日(土)】

基地による直接的な被害の実態がテーマの日。基地被害の深刻な実態を証言や報告で心に刻み、基地のフィールドワークで深める。

・米軍基地被害者の実態を学ぶ会

繰り返される米軍犯罪や基地の爆音の実態は、本土では極めて実感することが困難なものです。被害の当事者や裁判の弁護士の方などの証言をお聞きする予定です。

・普天間基地、嘉手納基地見学

住宅地のど真ん中にあり特に危険性が指摘されている普天間基地と、航空機による爆音が問題になり大きな訴訟が行われている嘉手納基地を、沖縄のガイドの方に案内してもらいながら見学します。途中バスからキャンプキンザーやキャンプフォースターも見られる可能性あり。

(Time Schedule)

8:00 朝食

9:00 米軍基地被害の実態を学ぶ会@青年会館

12:00 昼食

13:00 バスで出発

13:40 普天間基地見学

15:30 嘉手納基地見学

17:30 宿舎到着、大部屋で班毎に感想交流

19:00 懇親会

【3日目:9月11日(日)】

基地があることによる社会的影響と、基地問題解決の展望がテーマの日。

・基地の影響と基地問題解決の展望に関するシンポジウム

伊波洋一前宜野湾市長もお招きし、米軍基地が沖縄の社会に与えている影響や、基地問題解決の展望についてシンポジウムを行います。

・公共事業施設、辺野古見学

自治体に基地を受け入れさせるために作られた、大型公共事業施設を見学します。合わせて、普天間基地移設先候補と言われる、希少生物の宝庫・辺野古も、現地の方の案内で見学する予定です。

(Time Schedule)

7:00 朝食

7:45 バスで名護へ移動

10:00 伊波洋一前宜野湾市長を交えてのシンポジウム

13:00 昼食

14:00 公共事業見学

15:30 普天間基地移設候補である辺野古での解説・見学

18:30 青年会館着、夕食

19:30 日本科学者会議院生 実態・活動交流

21:30 閉校式

【4日目:9月12日(月)】

基本的には自由行動です。ただしオプションツアーとして、11日までの予定には入っていない沖縄戦跡めぐりを希望者有志で行うことを計画しています。「沖縄はじめてだから戦跡もちゃんと見たい」「院生たちとともにまた見学したい」といった方歓迎です。沖縄平和記念資料館、ひめゆり平和資料館、ガマ等を見学予定。移動の交通費と施設の入館料等を含め、オプションツアー参加者は全体参加費が20000円となります。

(Time Schedule)

自由行動。オプションツアーは9時から15時頃の予定。

現地解散

詳細は変更していきますので、参考程度とお考えください

参加申し込み方法 *締切：8月25日厳守

同封の「『JSA 若手夏の学校2011in 沖縄』申込書」に必要事項を記入の上、8月25日(木)までに、下記申し込み先に、郵送 Fax Email のいずれかでお申し込みください。企画内容に関わるお問い合わせも下記で承ります。

申し込み先(問い合わせ先)

郵送：日本科学者会議東京支部事務局

JSA 若手夏の学校2011in 沖縄実行委員会事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9F

Fax : 03-3811-8281

Email: jsa_summer_school@yahoo.co.jp

*お問い合わせは、なるべくEmail: jsa_summer_school@yahoo.co.jpへお願いします。

注意事項 *必ずお読み下さい

【参加確認の連絡/紹介文執筆のお願い】

参加を申し込まれた方には、事務局から確認のご連絡をメールにて差し上げます。また、参加者には自己紹介/研究紹介の文章を執筆していただく予定です。異分野の研究者間の交流を促すため、当日配布する「しおり」に全参加者の事項紹介を掲載します。参加者には別途原稿依頼のご連絡をいたしますので、ご協力ください。

【羽田空港ご利用予定の皆様へ】

9月の沖縄航空券は8月程ではないですが高価で確保が大変です。スカイマークでは搭乗日の2ヶ月前から予約可能ですが、安価なチケットは予約開始後数分で完売する可能性も十分あります。夏の学校実行委員会では、羽田から便について一括してスカイマークの極力安価なチケットを確保したいと思います。チケット確保をご希望の方は、6月30日までにツアーの参加申し込みをお願い致します。

確保する便は、行きは9月9日(金)羽田12:50発、15:40着の便、帰りは9月12日(月)の16:55発19:20着の便の予定です。便を確保した場合、キャンセルには片道4000円の手数料がかかりますのであらかじめご了承ください。料金に関しては、一括予約したチケット代の平均額を皆様にご負担いただく事になります。

部分参加の場合、参加費から1泊少ない毎に3,500円引かれます。

院生・若手研究者の交流の場ですので、学部生やシニア会員の方の参加については、学習やフィールドワークは公開、その他は要相談とさせていただきます

台風の影響で予定変更する事があり、その場合は東京で沖縄学習や横田基地見学、院生の実態交流等の代替企画を行う可能性があります。

OKINAWA

Calling!

Calling!

OKINAWA

『JSA 若手夏の学校2011in 沖縄』申込書

名前/Name	
年齢	
連絡先	TEL : e-mail adress :
所属機関	
専門分野・研究テーマ	
JSAの会員区分	会員/非会員
所属支部名(会員のみ)	
羽田からの団体飛行機利用の有無	行き・帰りとも利用 行きのみ利用 帰りのみ利用 利用しない
特記事項	
企画運営などについてのご要望	

*途中参加の場合、企画日程中のいつからいつまで参加をご記入ください。